

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福岡市中央区春吉3丁目プロジェクト	階数	地上13F
建設地	福岡県福岡市中央区春吉3丁目	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	210人
地(仮称)福岡市7地域		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	飲食店、ホテル、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2017年9月28日
敷地面積	1,726 m ²	作成者	大和ハウス工業福岡支店
建築面積	925 m ²	確認日	2017年9月29日
延床面積	8,479 m ²	確認者	大和ハウス工業福岡支店



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.4</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 1.8</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.6</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>町並みの景観を考慮し、建物を可能な限り整形とし、周囲に調和した建物構成を目指した。</p>	<p>その他</p> <p>(仮称)福岡市中央区春吉3丁目プロジェクト</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>ガラスは複層ガラスとし、熱負荷を抑え、内装材に化学汚染物質を使用せず、室内環境の向上を図った。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>福岡市まちづくり条例に準拠し、バリアフリーな建物とした。維持管理に配慮した設計として、防汚性の高い塗装や効果的な水切等による外壁汚れの防止、</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>境界部には連続した塀等を作らずに見通しの良いフェンスを設けることで防犯性・防災性にはいりよした。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化により省エネ性能を上げた。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>再生水利用システムを採用し、省水型機器を設置することで、節水への取り組みを行った。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>省エネによるライフサイクルCO₂排出率の提言。屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策に配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される